

# 令和5年度 学校評価報告

草加市立西町小学校  
(令和6年2月5日作成)

<b>1 学校教育目標</b>	
<p>○よく考え 工夫する子 (知)          ○心豊かで 思いやりのある子 (徳)          ○たくましく ねばり強い子 (体)          &lt;キャッチフレーズ&gt;          「感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町」</p>	
<b>2 重点目標・努力目標</b>	<b>3 前年度の成果と課題</b>
<p>○子どもを認め・褒めていく学校          ○「新しい時代に必要となる資質や能力」を育成する学校          ○健康な心と体を育むと共に、体力を向上させる学校          ○「自己有用感」を基盤に、安心で安全に生活を送ることができる学校          ○地域とともにある学校</p>	<p>成果          ○学校教育目標を具現化に向け「潤いと品格のある西町小」を目指す学校像として、組織的に教育活動を推進した。</p> <p>課題          ●草加中学校区3校の組織を構築し、教職員間の連携及び幼保小中一貫教育の充実・推進を図る。</p>

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校経営目標、方針</li> <li>校務分掌組織</li> <li>適所への適材配置</li> <li>職員会議等の運営</li> <li>予算の執行・決算、監査等</li> </ul>	B	<p>○校務分掌組織を活かした計画立案や課題解決が図られ、組織的な学校運営となっている。</p> <p>●職員間の共通理解が図りやすい効率的な会議の実現に向け工夫改善に取り組む。</p>
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究組織、計画、実施</li> <li>校内研修の推進</li> <li>授業改善への取組</li> <li>校外研修会への参加</li> <li>人材育成</li> </ul>	A	<p>○授業での振り返りや認め合いなど自己肯定感・自己有用感の向上に向け、研究に実践的に取り組めた。</p> <p>●小中学校3校の組織的な取組が実践されている。次年度のさらなる工夫改善につなげる。</p>
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健計画、安全計画</li> <li>環境衛生の管理</li> <li>健康観察、安全点検</li> <li>緊急事態発生時の対応</li> <li>危機管理マニュアルの作成・活用</li> </ul>	A	<p>○けが・体調不良が生じた際の速やかで丁寧な保護者への連絡が実践されている。</p> <p>●児童の交通安全意識の向上や万一の自然災害に備えた危機管理マニュアルの改善を図る。</p>
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の管理、保護</li> <li>施設設備の管理と有効利用</li> </ul>	B	<p>○全職員の共通理解のもと、個人情報の適切な管理が実現できている。</p> <p>●施設設備の要対応箇所について、今後も関係機関の協力を得つつ適切な対応を図る。</p>
	⑤地域との連携開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校情報の発信</li> <li>学校公開の実施</li> <li>学校運営協議会の推進</li> <li>地域、校種間連携</li> <li>PTA活動の活性化</li> </ul>	A	<p>○ホームページや各種便り、学校公開等で積極的に教育活動を公開し、保護者による学校評価で高い評価(91%)を得ることができた。</p> <p>○学校運営協議会で計画的に授業参観を行い、教育活動について意見を受けることで、地域とともにある学校づくりを推進した。</p>
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指す子ども像の共有</li> <li>15年間を通じたカリキュラムの編成</li> <li>一貫教育推進のための組織づくり</li> </ul>	B	<p>○中学校区3校合同で研究に取り組み、一貫教育推進のための組織構築・運営が図られた。</p> <p>●目指す子ども像の実現に向け、幼稚園・保育園も含め中学校区が一体となって教育活動の充実を図る。</p>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>教育計画の作成</li> <li>教育活動の評価</li> <li>目標、方針の周知</li> <li>授業時数の配当、確保</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○異学年交流等で思いやりをもって友達に接する姿が見られ、保護者による学校評価でも一定の評価(85%)を得られた。</li> <li>●粘り強く物事に取り組む力を一層育てていく。</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の人材・事業所や外部講師等を積極的に活用することで学びの充実につながられた。</li> <li>●教育課程を工夫するとともに教材研究の時間を確実に確保し、教科指導の一層の充実を図る。</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳的実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> <li>いのちの教育の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳ノートを活用し、学習内容を家庭に知らせることで家庭と連携した道徳教育が実践された。</li> <li>●校内研修の内容を活かし、「考え、議論する道徳」の一層の充実を図る。</li> </ul>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>各教科、道徳教育との関連</li> <li>中学校との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PPEBを用いた児童の振り返りを次時の授業計画に活かすことで、指導と評価の一体化を図った。</li> <li>●ALTとの打ち合わせ時間を確保し、指導の充実につなげる。</li> </ul>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>学級活動、学級経営</li> <li>学校行事</li> <li>児童会活動</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員会活動やクラブ活動が、児童一人ひとりが活躍する場となり自己有用感を高めることができた。</li> <li>●委員会活動やクラブ活動について、限られた時間の中で充実した活動となるように工夫する。</li> </ul>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価の工夫</li> <li>地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ふるさと草加」を意識した学習や異学年交流等の他者を意識した学習が実践された。</li> <li>●児童の興味・関心に応じた学習や体験的な学習を一層推進する。</li> </ul>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な生徒指導</li> <li>問題行動への対処</li> <li>教育相談、児童理解</li> <li>いじめ防止対策</li> <li>保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者評価の「子どもがいじめを許さないという意識を持っている」で97%の達成評価を得た。</li> <li>●丁寧な教育相談・児童理解の継続、日々の授業の充実により、いじめ・問題行動の未然防止に取り組む。</li> </ul>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>中学校との連携</li> <li>啓発的経験の充実</li> <li>家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校外学習の機会を有効に活かしながら、教育課程に基づいたキャリア教育が実践された。</li> <li>●各教科等におけるキャリア教育の視点を意識した指導の一層の充実を図る。</li> </ul>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画、支援計画</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>通常学級との交流</li> <li>諸機関との連携</li> <li>校内支援体制の整備</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通常学級との交流が多く実践され、保護者との共通理解のもと特別支援教育の充実が図られた。</li> <li>●配慮を要する児童について、校内の情報共有及び組織的な支援を継続する。</li> </ul>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画、支援計画の作成</li> <li>図書館補助員の活用</li> <li>諸機関との連携</li> <li>図書館の整備</li> <li>図書館利用の工夫</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スタンプラリーや読み聞かせ、ビブリオバトル等、本に親しむ機会を意図的に設けることができた。</li> <li>●取組の継続・発展を図り、本に親しむ児童を増やしていく。</li> </ul>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育計画の作成</li> <li>校内研修の充実</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>情報モラル教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タブレット端末を日常的に活用し、学習の充実が図られている。</li> <li>●各教科等において、情報モラル教育の一層の推進を図る。</li> </ul>
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の策定</li> <li>各教科との関連</li> <li>人権感覚の育成</li> <li>校内研修の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動全体を通じて人権教育を推進し、保護者評価の「人権を尊重する教育に努めている」で90%の達成評価を得た。</li> <li>●校内研修を一層充実させ、新たな人権課題にも対応した人権感覚の育成を図る。</li> </ul>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	1 学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親和的な学級集団</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</li> <li>・草加っ子の学びを支える授業の5ヶ条を意識した授業展開</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「草加っ子の学びを支える授業の5ヶ条」を意識した授業実践が図られている。</li> <li>●基礎基本の確実な定着を目指し、教育課程を工夫し実践する。</li> </ul>
	2 心身ともに健康な児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育的活動の充実</li> <li>・保健学習、保健指導の充実</li> <li>・アレルギー対応体制の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○持久走練習や縄跳びに関する取組を実践し、体力向上に努めることができた。</li> <li>●機会をとらえた保健学習・保健指導の効果的な実践により、健康・安全に過ごすための意識を高める。</li> </ul>
	3 安心・安全な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己有用感の育成</li> <li>・積極的な生徒指導の推進</li> <li>・「もくもく清掃」の定着</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報共有の機会を計画的に設けることで、児童についての共通理解を図り、積極的な生徒指導に努めている。</li> <li>●校内研修を活かしつつ、自己有用感の育成に一層努めていく。</li> </ul>

### 5 総合評価（学校関係者評価を含む）

- 全教職員の共通理解のもと、学校経営方針に基づいた教育活動が実践された。
- 的確な児童理解のもと、保護者と児童一人ひとりに寄り添った就学相談を、丁寧かつ継続的に実施することができた。
- 生徒指導や児童理解において関係機関との連携を丁寧に図ることで、安心・安全な教育活動の実践に努めた。
- 児童や学校の様子について、ホームページや各種便り等により、保護者及び地域への積極的な情報発信に努め、保護者による学校評価で高い評価（91%）を得られた。
- 学校関係者評価では、「社会が大きく変化している中で、教育活動が積極的に進められている」「外国語学習に関する教育活動が充実している」「学校全体の雰囲気落ち着きがあり、児童の1年間の成長が見られる」との評価を得た。

### 6 次年度の改善策

- 学力の向上
  - ・教育課程に学力向上に関する時間を明確に設定し、基礎基本の確実な定着を図る。
  - ・物事にねばり強く取り組む児童の育成に重点的に取り組む。
  - ・読書活動の一層の充実を図る。
- 幼保小中一貫教育の推進
  - ・草加中学校区での組織的な研究を推進し、幼保小中を一貫した教育の充実を図る。
  - ・「ふるさと草加」に根差した教育活動の充実を図る。